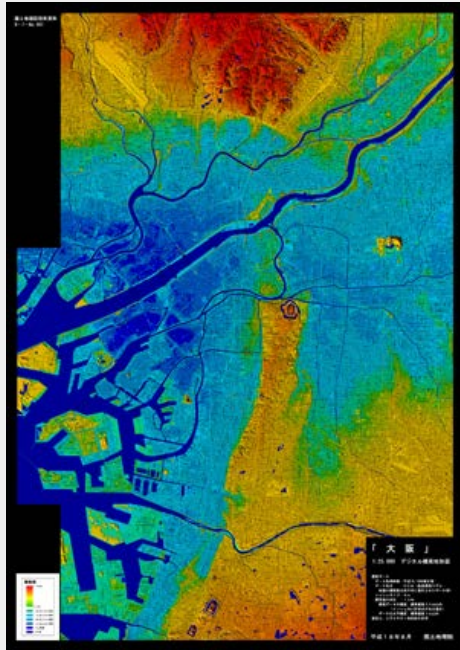




大阪南東ブロック・天王寺支部  
上本町総合法律事務所  
池田 克大

私の職場は天王寺区の上本町にあります。毎日、鶴橋駅から上本町まで、東から西へ歩いているのですが、上り坂が延々と続いており、夏場は息を切らすこと間違いなしです。上本町を越えて谷九までは上り坂が続き、谷九を越えたあたりで、今度は急な下り坂になります。大阪市内は平坦な土地が多いのに、なぜ、これほど大きな坂があるのか知っていますか。実は、この坂、上町台地という巨大な丘陵地の一部なのです！！



(デジタル標高地形図「大阪」(国土地理院)を元に作成)

上町台地は、大阪平野を南北に伸びる丘陵地で、その長さは全長12kmにも及びます。北端は大阪城付近、南端は住吉大社付近です。縄文時代の大阪平野は、この上町台地だけが半島のように突き出していて、現在の西区や北区はもちろん、都島区、城東区、東成区、その周辺地域もすべて海の底だったそうです。その後、半島は北側に向かって徐々に成長し、5世紀ころになると、半島が北側の海をせき止め、その結果、半島の東側はラグーンと呼ばれる地形へと変貌していきました。他方、半島の西側も、砂などの堆積物によって徐々に陸地化していきました。

いつも歩いている道に、こんな壮大な物語が隠されているのですね！目の前で起こっているミクロな出来事から少し距離を取り、鳥瞰的、大局的に物事を捉える良い機会になりました。目の前の課題で煮詰まったときは、散歩でもしながら、地形の成り立ちに思いを馳せてみてはいかがでしょうか！？

海に注ぎ込む淀川が土砂を運び、大きな堆積平野となっていった大坂の地は、川が入り込み、運河が作られ、水運に恵まれた商いの町となりました。その上に架かる橋、浪速八百八橋とか言いますが、実際は二百ほどで、江戸八百八町の橋は三百五十ほど。高速道路が架かるたび、その数も減っていくとか。（編集 西岡）